



〈代表取締役社長〉
橋詰 和弘
はしづめ かずひろ
〔座右の銘〕
自利利他

Q1 橋詰さんの家具のこだわりは？

A 末永く、いつまでも一緒に暮らしていけるような質の高い家具。子どもや孫が受け継いでいける家具こそが本物の家具だと考え、一生ものの家具づくりを行っています。

Q2 県産材にこだわっているということですが。

A 県産材の中でも楠にこだわっています。楠は昔から天然の防虫剤と言われているように衣服の収納に最適なんです。県産材の需要拡大にも貢献したいですね。

Q3 今後の展望は？

A 高品質の家具を求められる大手の家具卸店や小売店と取り引きできる生産体制が整いました。3年後には約2倍の売上げを挙げられるよう、今後は営業体制も強化していきます。



市 場にあふれる中国や東南アジア産の低価格の家具。同社では、それらの家具と品質において明確な差別化を図ることで、良いものを求める顧客ニーズを開拓し、新たな需要を見込んでいます。

「取引先の多くが、日本製で高品質な商品を販売したい、という思いを持たれています。高周波板はぎ接着機によって、そのようなお客様の声に確実に応えられる商品を、安定して供給

できるようにになりました。これからは、さらに他の工程の見直しなども行い、質の高い商品をもっと全国に届けていきたいですね」



3年後には約2倍の売上げを見込んでいます

1 00年、2000年と使い育てる一生ものの家具を作り続ける橋詰家具。数ある商品の中でも、木材本来の肌触りと香りが残る学習デスクは、多くの引き合いがある人気の商品です。しかし、そのこだわりゆえ、製作工程に時間が掛かってしまうことから、受注機会を逃してしま

うことがしばしばありました。「机の命である天板を作るには、3〜4枚の板を接着して貼り合わせる『板はぎ』という作業が必要なのですが、これまでは、この作業にどうしても1〜2時間は掛かっていました。

こ だわりの机をたくさんの人に使ってもらうには、板はぎの作業時間を短縮するしかない。そう判断した同社は、高周波板はぎ接着機を導入します。

「これまでの機械は、接着剤を塗布後、外から低温で加

熱していたためにかなりの時間がかかっていたのですが、新しい機械は電子レンジのように内部から高温加熱するので、わずか1〜2分で板はぎが完了するんです。しかも、私たちが一番大切に行っている品質はそのままにこの機械によってもたらされた作業効率の向上は、革命と言っても過言ではありません」



高周波板はぎ接着機は机の脚の枠組みにも使われています。

2時間の作業がわずか1〜2分 現場に革命を もたらした新設備

株式会社 橋詰家具



木材の魅力を最大限活かした高品質の家具を製造する同社。生産にかかる時間のために諦めざるを得なかった大手家具卸店からの引き合いに対応できるよう、画期的な機械を導入しました。

ものづくり補助金活用 ここがポイント



作業効率を格段に向上させた 高周波板はぎ接着機

1〜2時間掛かっていた天板を作る「板はぎ」の作業が1〜2分に短縮。それまで断らざるを得なかった、全国大手からの引き合いにも対応できる生産体制が整いました。

Case **11** 家具製造・販売
株式会社 橋詰家具

〒885-0055 宮崎県都城市早鈴町2042-3 TEL 0986-22-6312

